



令和3年度夏期環境家計簿モニター

モニターさんの声

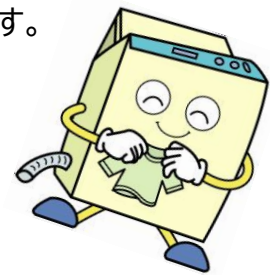
この度は令和3年度夏期環境家計簿モニターにご参加いただき、ありがとうございました。

今夏、関東地方は昨年と比べると全体的に気温が高く、一部急激に気温が下がった時期もあり、体調管理が難しかったのではないのでしょうか。緊急事態宣言に伴いリモートワークや、外出自粛など、家で過ごす時間が増え、電気やガスの使い方も大きく変化し、その中での使用量削減は大変だったと思います。

過去に環境家計簿モニターに参加された方は、振り返り分析することで次への取組に繋げているようです。これからも無理せず、体調第一で省エネを実践していきましょう。

皆さんからいただいた省エネへの取組方法や課題などをご紹介します。

今後の参考として、ご一読ください。



《タケちゃん》

洗濯機を節水型に変えたらエネファームのお湯の使用量が減り、相対的にガスの使用量が減り、変わって電気の使用量が増えた。

《モンデオ》

なるべく扇風機を多用してエアコンの使用時間を少なくするようにした。昨年と同じくコロナ禍による外出自粛による自宅時間が多くあまり使用量の削減はなかったと思う。また省エネのアイデアもなかなか出ず、省エネ意識を持ち無駄な利用（電気、ガス、水道）を抑えることを持ち続けたように思う。

《R&M》

- ・ガスについては、自宅でパンを焼く機会が減り、使用量が減った。
- ・電気については、書斎で使うエアコンの設定温度を28度にして使用量の削減に努めたが、孫が大きくなるにつれて実家である我が家を訪ねてくる頻度が増え、リビングのエアコンの冷房を入れることが増えたため全体的には使用量が増えた。

《あおば》

今夏は昨年にくらべ涼しい日が多く、エアコンの使用頻度を抑えることができた。そのため電気代が減少している。

《KAIYO》

当期間中（7～9月）の体感的気象環境、とにかく暑いという印象であった。しかしCO₂は対前年比-12.38%、光熱費金額から見ると-618円と節約されている。ただし電気量はほぼ同じ、猛暑を昨年同様に過ごしたことになる。この上CO₂削減を考えると10年以上使用している冷房設備を新しい商品に交換しなければ・・・一応令和4年には冷房設備を省エネ効果の高い機種に交換する事を検討する。

《あっきっき》

直射日光が部屋に差し込まないように、ブラインドを下げる。曇天が多かったので日中の発電量が少なかった。

《青りんご》

異常気象で、1ヶ月の内でも（暑い）気温・温度の上限が激しいので体にこたえるが、なるべく天然の風を利用。暑い日は窓・カーテン・雨戸もしめて、外の気温を室内に入れないよう工夫した。

《しじみちゃん》

7月はエアコンの使用はほとんどなく、お風呂の温度を1℃上げ、8月の猛暑からは24時間エアコンつけることが増え、風呂の温度を1℃下げた。

《藍 (ao)》

”節電”と”病気にならない”の狭間で、結果として医療機関の負担を増やすべきでないと考えて環境を優先した。（冷房や風呂の使用は重視、その他はできる限り節電した。）

《幹ちゃん》

エアコン2台効率的なものに買い替えた。電球をLEDに全切り替える。早寝早起きを心掛け節電に努めた。

《ハッピー》

- エアコンのオン・オフを繰り返さないように気をつけた。
- サーキュレーターを活用して涼しい空気を循環するようにした。
- ウォシュレットの便座をオフにして、温水は低めに設定を変更した。

《おっちゃん》

今年は殊の外、異常に暑い日が続き、昨年までは一日の内でクーラーを止める時間があったが、今年は24時間ONの状態であった。電気代9月分は8月使用分で昨年同月の約140%となった。

昨年令和2年7月はガスの使用率が非常に高かった。その報告書を見ると1日に2回も風呂を焚くことがあったと書いてある。令和元年のガス使用は令和3年と似ている。簡単に言えば令和2年は7月ガス代4,000円オーバーで令和3年の9月電気代6,000円オーバーで差引2,000円令和3年は少なかったという状況だ。

何か気候変動に左右された我が家特異の電気およびガスの使用傾向によるものと思われる。

